

子育て世代を対象とした意識調査

調査の対象

就園前(0歳～3歳未満)のお子さんがある子育て支援センターの利用者 34名
(高知市11名・香南市12名・四万十市11名)

調査の方法

インタビュー(香南市・高知市)または座談会(四万十市)

調査の結果

1 高知県は「安心して『結婚』『妊娠・出産』『子育て』できるような社会」になっていると思いますか

→ そう思う・ややそう思う:23人 どちらともいえない:9人 そう思わない:2人

2 理想の子どもの数 5人と回答:1人 4人と回答:3人 3人と回答:19人 2人と回答:10人

現実に持ちたい子どもの数 4人と回答:1人 3人と回答:10人 2人と回答:17人 1人と回答:5人
(無回答1人)

3 子どもを生み育てる環境

【保育サービス・一時預かり】

- ・4月に職場復帰しないと保育園に入所できない
- ・預け先のことを考えると子どもを設けるタイミングを考えざるを得ない
- ・子どもの預け先が圧倒的に少ない
- ・仕事をしたいと思うが預け先がないと職探しが難しい
- ・両親に預けられないとき他に預け先がない
- ・妊娠中のつらいときに上の子を預けられる制度がほしい
- ・ファミサポは良い制度だが手続きが複雑で預け先が決まると断りづらい、6か月からの預かりだが、それまでがしんどい

【相談窓口】

- ・簡単に相談できる場がない
- ・産後、気軽に悩みを相談できるところを知らないため、身近に知れる機会があればいい

【子育て支援制度等の情報】

- ・県外から来たが、出産をするにあたり支援制度等の情報収集に時間がかかる
- ・利用できるサービスが産院を退院する前にわかると良いと思う
- ・育児で困ったときに情報をどこで得られるかわからない

【育児休業】

- ・希望する期間育休を取得できない
- ・パパも育休を取れるといいが、制度はあっても女性が取ると何故男性が取るのかの理由がある
- ・夫の職場は育休制度はあるが「給料減るからやめといた方がいい」と言われ結局取らなかった
- ・もっと企業側が子育てを応援してほしい
- ・夫に育休を取ってほしいと言える職場環境ではない

4 認知度 出産・育児支援サイト「こうちプレマネット」 知っている11人 知らない23人

子育て支援の店 知っている 9人 知らない25人

取組の方向性

■子育ての不安感や負担感を軽減する環境づくり

- ・市町村と連携した子育て支援サービスの充実
- ・市町村と連携した子育て支援サービスの情報発信や相談窓口の周知
- ・「育児休暇・育児休業取得促進宣言」賛同企業や「ワークライフバランス推進企業」の拡大
- ・働き方改革を進めるための企業の意識醸成

